

《千曲市》 千曲市ボランティアセンター

〔センターの基本事項〕

所在地	〒387-0011 千曲市杭瀬下2-6			
電話 F A X	026-272-0252	026-272-6557		
電子メール	cshakyo2@valley.ne.jp			
H P アドレス	http://www.valley.ne.jp/~chakvokc/			
職員数	正規	3名	嘱託	2名
	臨時	—	その他	—
開所日と時間	平日 平日8:30～17:15 土日祝			
情報誌	社協だより			
	年6回（偶数月）発行			
来所者数	—			

〔センターの運営方針・指針等〕

- ・ボランティアセンターの体制の強化
- ・福祉教育を推進・支援
- ・企業・施設・NPOに対する活動支援を整備し連携を図る

〔センターの拠点整備〕

活動場所の提供	<input type="radio"/>	無料、対象者：ボランティア団体
フリースペースの設置	<input type="radio"/>	机、椅子、ポット
資機材等の貸出	<input type="radio"/>	プロジェクター、スクリーン、CDカセットデッキ、DVD再生機、パネルシアター、拡声器 無料、対象者：市民
福祉体験器具等の貸出	<input type="radio"/>	高齢者疑似体験セット、白杖、アイマスク、点字器、車いす 無料、対象者：市民
登録グループの専用ポストの設置	—	
情報掲示板・チラシ提供スペースの設置	<input type="radio"/>	

〔ボランティアセンター運営委員会〕

組織の有無	有	規約	有
名称	ボランティアセンター運営委員会		
平成16年4月1日より施行。千曲市ボランティアセンター運営規定の第4条に「ボランティアセンターの適正な運営を図るため、ボランティアセンター運営委員会を置く。」とある。			
委員構成	支部長、障害・高齢者・子育て環境の各ボランティア団体長、ボラ連、老人会、一般公募10名		
事業への関わり	—		
工夫点	—		
課題点	年度末と年度初めに委員を招集し、事業計画・事業報告を行っているが、今のところ運営委員に事業の企画・立案等に関わっていない。		

〔ボランティア連絡協議会〕

組織の有無	有	規約	有
名称	千曲市ボランティア連絡協議会		
平成17年4月20日 平成6年に更埴地区でふれあい広場に関わっていた各種団体で更埴ボランティア連絡協議会として発足した。平成15年に千曲市が合併したことで、ボラ連も千曲市ボランティア連絡協議会となる。			
協議会構成	26団体		
工夫点	ボラ連の団体がイベント（映画鑑賞会・講演会など）を行う際、チケット販売協力		
課題点	・各ボランティア団体会員の高齢化。 ・役員のなり手が決まらない。		

〔財源〕

人 件 費	独自財源	—
	共同募金	—
	委託料・補助金	○
	民間助成金	—
	その他	—

事 業 費	独自財源	○	社協会費、県の補助事業
	共同募金	—	
	委託料・補助金	—	
	民間助成金	—	
	その他	○	

〔業務及び事業について〕

ボランティア活動支援

相談・コーディネート	○	委
ボランティア保険加入事務	○	委
ボランティア・NPOへの助成	○	共
各種情報提供	○	共・委

広報・啓発

ボランティア広報誌・情報誌の発行	○	共
ホームページの運営	○	—

相互交流・ネットワークづくり

ボランティアの集い	○	—
「長野ブロックボランティア交流研究集会」		
ふれあい祭り等の開催	○	—
・参加団体によるステージ発表、展示、出店、ミニSL、ふわふわ、共同募金PR活動 ・実行委員会		

ボランティア講座

未経験者向け	○	独
<p>参加費1000円 「ボランティアはじめ専科」全4回 1. ボランティアの基礎知識「ボランティアってどんなこと？」講師：内山二郎氏 2. ボランティア団体紹介 千曲市ボラセン登録の7団体による活動紹介。 3. ボランティア活動実践 4. 体験発表・ワークショップ ファシリテーター：ボラセン職員 「園芸福祉ボランティアはじめの一歩講座」全5回 1. 講義「みんなを幸せにする園芸福祉とは？ガーデニングの効果と園芸福祉について」 実習「こけ玉づくり」講師：長野園芸福祉ネットワーク副代表 山本宗輝氏 2. 講義「コミュニティ花壇について」実習「寄せ植え」 講師：越ガーデンデザイン事務所 越洋子氏 3. 講義「笑顔・満足・しあわせ園芸」実習「ハーブを利用した園芸」 講師NPOジャパンハーブソサエティ認定インストラクター 徳永淳子氏 4. 実習 5. まとめ・交流会 「傾聴ボランティア養成講座」全7回 1. 講義「傾聴とは？」講師：内山二郎氏 2. 講義「精神障害者の理解と関わり方」 講師：精神障害者通所授産施設施設 チューリップの家 施設長 宮下平司氏 講義「知的障害者の理解と関わり方」 講師知的障害者通所授産施設 満天の星 施設長 安藤正幸氏 3. 発表「当事者の立場から知ってほしいこと」NPO法人 ボプラの会 講義「精神障害者援助の現場から」講師：鶴賀病院 精神保健福祉士 夏目宏明氏 4. 講義「認知症高齢者の理解と関わり方」 講師グループホームまゆ更科 施設長 服部幸恵氏 講義「ボランティア活動について」ボラセン職員 5. 講義「障害の特性に応じた傾聴」「ロールプレイ」 講師千曲・坂城障がい者（児）相談支援室 滝沢英知氏 6. 実習「グループホームまゆ更科」「満天の星」「チューリップの家」3か所実習 7. まとめ、傾聴ボランティアミミの会との交流</p>		
活動者向け	○	共
<p>参加費300円 「子育てサロニーター研修」2回 1. 「わくわく・どきどきあそびの広場」 グループ こんべいとうさんによる「パネルシアター」 リフレッシュ体操 子育て応援団ボランティア「れいんぼう」さんによるパルーンであそぼう。 2. 「子どものあそびについて学ぼう」講師：飯綱高原ネイチャーセンター代表 内田幸一氏 講義「現代事情！子どもの心と体の育ち」 活動紹介、交流会 意見交換・アイデア交換</p>		

福祉教育・ボランティア学習

小中学生対象	○	独	
<p>参加費500円 「サマーチャレンジボランティア」（中学生以上） ・市内福祉施設39か所（高齢者・障害者・児童）から選んで2日以上体験を行う。 ・事前研修会（ボランティアについて、実習担当職員による説明） 「福祉教育」：職員派遣 車いす体験・アイマスク体験・車いすツインバスケット体験</p>			
高校生対象	○	独	
<p>「サマーチャレンジボランティア」参加費500円 「学生ボランティア」3回 参加費無料 1. 出会うの時 アイスブレイク・ふれあい広場の出し物を企画 2. イベントの準備 3. 当日</p>			
大学・短大・専門学校生対象	○	独	
「学生ボランティア」3回 上記と同じ			
教員・学校関係者対象	○	独	
<p>「市内学校の福祉教育担当者会議」 ・年度当初行い、社協の福祉教育についての関わりを説明や意見交換を行う。</p>			
一般対象	○	独	
「サマーチャレンジボランティア」 参加費1000円			
福祉教育協力校への助成事業	○	共	
総額	765,000円	1校あたり	約50,000円
小学校	9校	中学校	3校
高等学校	1校	その他	—

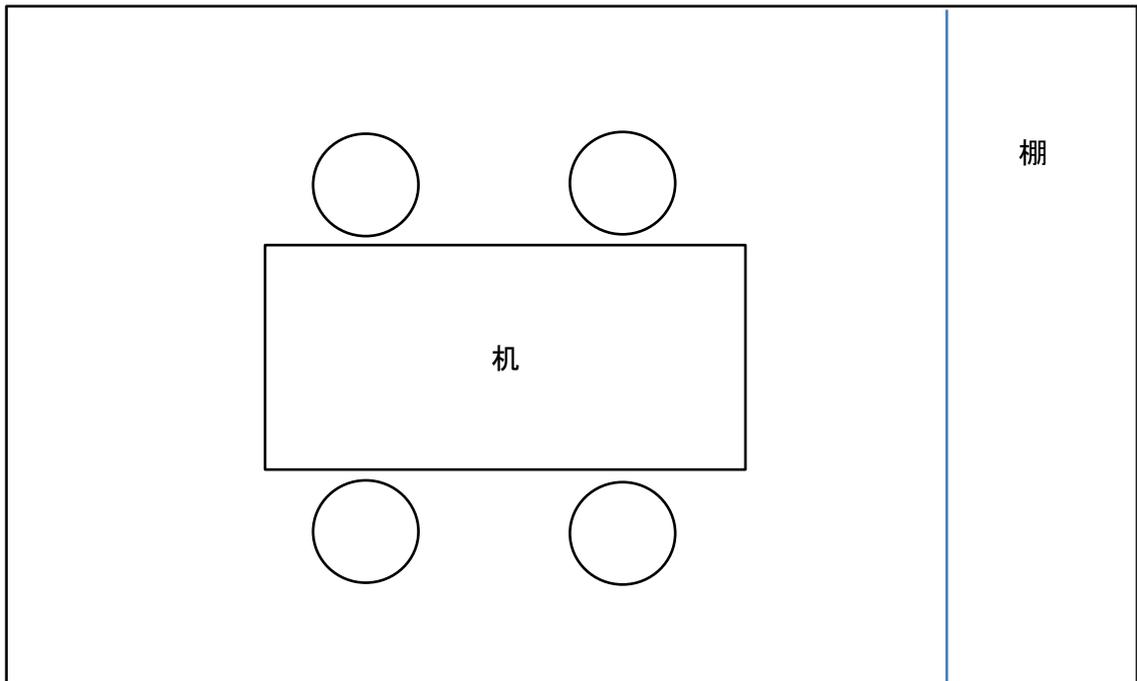
その他の事業

家具止め講習会	独・他
家具止めについての講習会と実演 講師：日本住宅耐震対策協会 愛知支部長 鈴木啓之氏	
災害救援ボランティアセンター立ち上げ訓練	独
講義「災害救援ボランティアセンターについて」 講師：NPO法人ローカル・コミュニティ 高田克彦氏 ・ボランティアセンターの流れに沿って説明、体験、振り返り	
福祉避難室	独
講義「福祉避難室について」体験「HUG」 講師 長野県危機管理部 危機管理防災課 担当職員 ・市消防防災課担当職員より、千曲市の要援護者等避難所についての説明	

〔事業計画・センター運営等について〕

○事業計画について 毎年度の事業計画について、どのように計画を立案していますか？	担当部署・担当職員間で事業計画を立案している。
○センターにおける中長期計画について 独自の中長期計画・アクションプラン等を作成していますか？	強化計画
○アドバイザー等について センターの運営や事業実施に関して、アドバイザー等の助言者はいますか？	—
○社協VC以外の中間支援機関について 社協が運営するVCとは別に、他団体が運営する中間支援機関が地域内にありますか？	—
○連携するNPOや関係機関について VCの事業・運営において連携・協働しているNPOや関係機関等がありますか？	
連携・協働先	連携・協働内容
行政	各種講座の参加依頼、講師依頼、情報交換等
青年会議所	災害時の連携
—	—
○センターの強みと弱みについて	
《強み》 ボランティアセンター職員が更埴・上山田の事業所にいるため、ボランティアの方に最寄りの事業所に来ていただける。	《弱み》 センターに職員がいないため、貸館依頼が少ないことやボラ団体の資材置き場になっているのが現状。

○VC見取り図



○他市町村社協ボランティアセンターについて センター運営や事業実施に関して、他市町村社協VCに聞いてみたいことや知りたいことなど
